

右側通行などが挙げられます。自転車の運転者としては、運転開始時、そして交差点での安全確認、左側通行、スピードの出し過ぎ注意や歩行者への配慮、交差点での一時停止、夕暮れ時、下校時のライトの点灯、横断歩道や車道横断時は自転車から降りて歩くなど、気を付けていることはたくさんあります。

ところが、最近、自転車に新しい交通ルールができました。三年以内に二回違反した場合「自転車運転者講習」というものが義務づけられたのです。さらにこの講習を受けない場合は、五万円以下の罰金刑になります。以前、自転車の違反行為による事故が全国的に増加していると新聞やテレビのニュースで知りました。では違反行為には具体的にどのようなものがあるのか、調べてみました。すると信号無視、傘を差しての運転、さらに携帯電話をいじりながらの運転などがありました。携帯電話が片手で簡単に利用できるようなったことが関係していると思います。つまり自転車に乗りながら携帯電話（スマホ）に夢中になり、車や歩行者にぶつかって大きな事故につながってしまう危険が増えたのだと思います。いつか僕たちも携帯電話を持つ日がくると思いますが、絶対にしてはいけないと強く思っています。携帯電話が便利なものだというのは分かりますが、自転車でも自動車でも運転中の操作は絶対にやめてほしいと思います。

このように、僕たちは歩行者として気をつけているだけでなく、自転車という車両を運転する者としても気をつけなければなりません。立場は違っても、どんなときも、交通ルールを守ることで、安全をつくることのできるのですから、「急がずマ

ナーとゆとりで 交通安全」をつくっていきます。そして、自分と周りの人たちのかけがえのない「命」を守ろうという「こころの温かさ」を忘れずにいたいと思います。

『交通事故ゼロの藤里町をめざして』



菊地凛さん

「いつてらっしゃい。車に気をつけてね。」私や妹が学校に行くとき、お母さんはいつもそう声をかけてくれます。

私は、交通事故について考えてみました。交通事故は、とてもこわいものだと思います。なぜなら、いくら自分が気をつけても巻き込まれることがあるからです。以前、小学生が下校と中に車が急に突っ込んできて、なくなってしまうというニュースを見ました。何の罪のない子供がこのように事故にあつたのを見て、事故のおそろしさを改めて感じました。

私の家族は、子供たちに対してだけでなく、だれかが車で出かけるときにも「運転気をつけてね。」と声をかけるようにしています。私も、お父さんやお母さん、おばあさんに何度も声をかけてきました。このように一声かけるだけでも、意識して運転できるようになると思います。

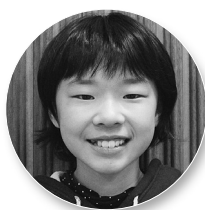
私が普段気をつけていることは、弟や妹を連れて公園に行くときは、左右をよく見てから道路を渡るということです。小さい子供は自分の興味のあることを見つけると

突然走り出して飛び出しをすることがあります。だから、特に車の通行量の多い道路の近くでは手をつなぐようにしています。また、私の家の前はスピードの出ている車が多いので、歩道では絶対に遊ばないように気をつけています。

藤里町では、交通事故でなくなった人がいない日が五千日以上も続いています。これは、藤里に住んでいる人たちが交通ルールを守って安全に気をつけて過ごしているからだと思います。他にも、私たちの登校時には、交通指導隊の方々が見守ってくれています。それは、町全体で子供たちの安全を守ってくれていることの証だと思っています。私たちの学校でも、毎年四月に交通安全教室を行っています。交通安全教室では、駐在所のおまわりさんが来て、命に関わる事故にあわないために気をつけることを教えてくれます。毎年のことなのですが、交通安全教室が終わると、今まで以上に交通事故に気をつけようという気持ちになります。

これからも、交通事故には十分気をつけて、町全体で私たちを見守ってくれていることに感謝をしながら生活していきたいと思っています。そして、藤里町の交通事故ゼロの日をたくさん増やしていきたいです。

『我が家の交通安全』



山田愛莉さん

今日もまた交通事故があったのか。連日のように、テレビからは交通事故のニュースが流れてきます。まだ幼い子供が事故に巻き込まれ、命を失うこともあります。

私は、家族や自分の命について考えてみました。私は今健康で、毎日友達と楽しく過ごしたり、勉強やバスケットをがんばったりしています。家族もみんな優しく、それぞれ仕事や勉強をがんばっています。しかし、もし私や私の家族が事故に巻き込まれてしまったらどうなるでしょう。けがをして入院したり、命を失ったりしたら、幸せな毎日の生活はいつしゅんにしてくれなくなり、悲しみにあけられてしまうと思います。

人々を不幸にする交通事故にあわないために、私の家では家族みんなが気をつけていることがあります。それは、車に乗ったら必ずシートベルトをつけるということです。以前シートベルトを着用しているときと着用していないときに事故にあったらどうなるかという映像をテレビで流していました。それを見て、シートベルトは重大な被害を防ぎ、私たちの命を守ってくれることが分かりました。だから、「少しでもいいや」という気持ちにならないよう、どんな短いきりでも必ずつけるよう家族みんなが声をかけ合っています。また、私の家では、お父さんがお酒を飲んだら、お母さんが運転するなどの工夫をしています。飲酒運転をしないのは、ドライバーの義務であると思います。

今年から、自転車乗りのルールが厳しくなったと聞きました。一時停止をしなかったり信号無視をしたりすることは、事故を引き起こすことにつながります。また、スマホを見ながらの運転は安全運転義務違反となり、違反切符や罰金の対象になること